

情報監視審査会会長
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

第203回臨時国会

第203回臨時国会は10月26日に召集され、12月5日までの41日間の会期となりました。

菅新総理は所信表明演説において、新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大を防止し、国民の命と健康を守り抜き、その上で社会経済活動を再開し、経済を回復させるとの強い意思を示しました。そして、ワクチンについて、安全性と有効性を最優先に、来年前半までに全ての国民に提供できる数量を確保することを表明しました。一日も早いワクチン、治療薬の開発に期待したいと思います。

また、各省庁の縦割りを打破し行政のデジタル化を進める等、大胆な規制改革を実現し、ウィズコロナ、ポストコロナの新しい社会を築くとしています。社会保障に関しては、不妊治療への保険適用を早急に実現すること。各制度の非効率や不公平を正し、毎年薬価改定の実現に取り組むとともに、オンライン診療の恒久化を推進するとしています。薬価等の具体的な事項については、中医協等の適切な機関において、適正な判断がなされるものと思います。

私は今国会で参議院情報監視審査会の会長に任命されました。情報監視審査会は8名の委員で構成され、行政における特定秘密の保護に関する制度の運用を常時監視するため、特定秘密の指定・解除及び適正評価の実施状況を調査し、議院等からの特定秘密の提出要求に係る行政機関の長の判断の適否等を審査することを任務としています。

情報監視審査会において取り扱う情報は、特定秘密保護法に規定する防衛、外交等、日本の安全保障に関する事項のうち特に秘匿を要するものであることから、審査会委員は知り得た特定秘密等を漏らさないことの宣誓を行います。審査会長として、適正な国会運営に尽力して参ります。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>